



お使いになる前に hp workstation zx2000

マニュアル製品番号 : A7844-90043

2003 年 3 月

本書では、システムの前面および背面パネルコネクタの概要、システムのセットアップと構成の手順、トラブルシューティングについて説明します。付録には、保証に関する情報と規制に関する情報が含まれています。

© Copyright 2003 Hewlett-Packard Company

© Copyright 2003 日本ヒューレット・パカード株式会社

Microsoft®、Windows®、Windows 2000®、および Windows XP® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国の登録商標です。

Intel® および Itanium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国の登録商標です。

その他の製品名は、商標もしくは登録商標を所有する各社に帰属します。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 社製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も新たな保証を追加するものではありません。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を、当社の書面による合意なしに無断でコピー、改変、他の言語に翻訳することは法律で禁止されています。

お使いになる前に
hp workstation zx2000
初版 (2003 年 3 月)

マニュアル製品番号 : A7844-90043



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの消失を引き起こす恐れのある注意事項を表します。

安全に関する重要な警告



警告：感電の防止。感電を防ぐため、電源装置を開けないでください。電源装置内部をお客様が直接修理することはできません。

感電およびレーザー光による眼球の損傷を防止するため、DVD レーザーモジュールは開けないでください。レーザーモジュールの点検・修理は、保守担当者以外行えません。電力要件および波長については、DVD ドライブに記載のラベルを参照してください。この製品は、クラス 1 のレーザー製品です。



警告：カバーの取り外しと取り付け。安全のため、システムのカバーを取り外す際には必ず電源コードをコンセントから抜き、通信ネットワークへの接続ケーブルをすべて取り外してください。システムに電源保護装置が取り付けられている場合は、コンピュータをシャットダウンしてから、オン/オフスイッチを使用し、電源コードを抜いた後システムのカバーを取り外します。必ず、電源保護装置のケーブルを取り外してから保守作業バーを取り外します。を行ってください。システムの電源を入れる前には、必ずカバーを取り付けてください。



警告：バッテリーの安全に関する情報。電池は正しく装着してください。破裂する危険性があります。安全のため、使用済みの電池を充電または分解したり、火気に近づけたりしないでください。電池を交換する場合は、同一または同等タイプのメーカー推奨の電池を使用してください。

システムに内蔵されている電池はリチウム電池で、重金属は含有していません。しかし、環境保護のため電池は一般の廃棄物として捨てないでください。使用済みの電池は、電池の販売店、システムの取扱店、または当社に返却してください。リサイクルや正規の方法での廃棄が行われます。



警告：火傷の防止。コンピュータ内の部品は高温になっていることがあります。手を触れる際には、部品の温度が下がるまでお待ちください。



注意：静電気の防止。静電気により電子部品が損傷することがあります。アクセサリカードを取り付ける際には、すべての機器の電源をオフにしてください。また、衣服がアクセサリカードに触れないようにご注意ください。静電気の影響を避けるため、アクセサリカードを梱包用のビニール袋から取り出す際には、袋ごとシステムの上に置いた状態でアクセサリカードを取り出してください。必要以上にカードに触れないようにし、慎重に取り扱ってください。



注意：人間工学についての情報。より広範な人間工学上の情報にアクセスするには、以下の当社の Web サイトにアクセスしてください。
www.hp.com/ergo

注記：システムのリサイクル。当社は、環境問題に対して積極的に取り組んでいます。HP システムには最大限環境に配慮した設計を行っています。また、耐用期間が終了したシステムに対してはリサイクル処理を行っています。製品の回収制度は、現在数カ国で実施されています。回収された機器は、HP ヨーロッパ、アメリカなどの HP のリサイクル施設に送られたのち、再利用可能な部品が取り出され、残りの部分に対しては再生処理が施されます。当社では、電池をはじめ、有害物質には特別な処置のもと、特殊化学処理を経て、無害な成分に還元しています。当社製品回収制度についての詳細は、HP サポート窓口までお問い合わせください。

目次

1 システムのセットアップと使用法

システムの説明.....	1-2
前面パネル	1-2
背面パネル	1-4
システムのセットアップ.....	1-5
工具	1-5
デバイスの接続	1-7
システムの起動と停止.....	1-9
システムの起動	1-9
システムの停止	1-11
ハードウェア コンポーネントの取り付け	1-12
ファームウェアとドライバ	1-14
システムの構成.....	1-15
EFI(Extensible Firmware Interface).....	1-15
BMC (Baseboard Management Controller)	1-22

2 トラブルシューティング

システムが正常に起動しない	2-2
ハードウェアの問題	2-3
マウスの問題	2-4
システム LED によるトラブルシューティング.....	2-6
e-buzzer によるトラブルシューティング	2-9
ソフトウェア診断ツール	2-11
HP e-DiagTools によるハードウェアの診断.....	2-11
その他の HP-UX 診断ツール	2-14
OS の復元.....	2-15
お問い合わせ先	2-16
サポートに連絡する情報の収集	2-16
オンラインサポート	2-17

電話サポート	2-18
その他のマニュアル	2-18

A 規制に関する情報

Federal Communications Commission Radio Frequency Interference Statement (for USA only)	2-3
Notice for Canada	2-3
Safety Warning for the USA and Canada	2-3
Notice for France	2-4
Notice for the Netherlands	2-4
Notice for Germany	2-4
Noise Declaration for Germany	2-5
Notice for Japan (Class A)	2-5
Notice for Korea	2-5
Notice for Taiwan	2-5

B 保証に関する情報

ハードウェアおよびソフトウェアの保証	2-1
保証限度	2-2
責任および補償の制限	2-3
他社の製品	2-4
顧客責任	2-4
出張保証サービスを受けるには	2-4
部品保証サービスを受けるには	2-5
ソフトウェアの限定保証	2-6
電話サポートサービス	2-6
より広範な保証とサービスサポート	2-7
保証サービスについての当社へのお問い合わせ	2-7

索引

システムのセットアップと使用法

ここでは、以下について説明します。

- 前面および背面パネルの説明
- セットアップの手順
- システム構成の手順
- トラブルシューティング

システムの説明

zx2000 ワークステーションには、**タワー型**と**ラックマウント型**があります。

前面パネル

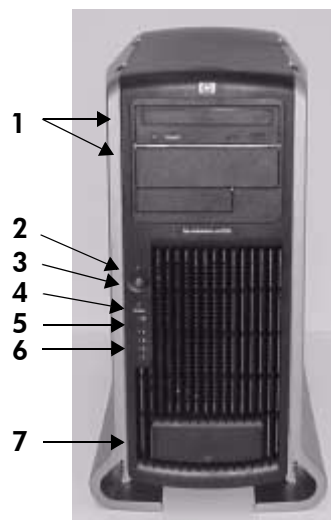
zx2000 の前面パネルは以下の機能を備えています。

- **フロントアクセス USB コネクタ**× 2。
- **フロントアクセス光磁気ドライブ**ベイ× 2。
- **電源ボタン**によってシステムの電源のオン/オフを切り替えます。
- **電源 LED**: 電源が投入されている間、および電源ボタンを押した際に緑色になります。電源が投入されている間にボタンを押したままにすると電源は切れますが、LED はシステムの電源が切断された後も緑色のままです。ボタンを放すと、緑色の LED は消えます。
- **動作 LED**: システムがハードディスクドライブまたは光磁気ドライブ (IDE または SCSI) にアクセスしているかどうかを示します。LED とシステムの関係は以下のとおりです。
 - **オフ**の場合、システムは動作していません。またはシステムは内蔵ドライブにアクセスしていません。
 - **緑色で点滅**している場合、システムは内蔵ドライブにアクセスしています。

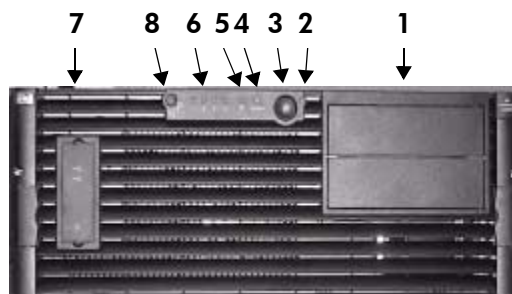
注記: 動作 LED は、2003 年 3 月以降に購入されたシステムでのみ動作します。

注記: 動作 LED は自動的に IDE HDD または光磁気ドライブと通信します。SCSI ドライブと通信するためには、SCSI LED ケーブルを SCSI カードおよびシステムボードに接続する必要があります。

- **システム LED および診断 LED** は、システムエラーに関する情報を提供します。
- **ロケータボタンおよびロケータ LED** (ラックマウント型のみ) は、ワークステーションのラック位置を示します。



前面パネル（タワー型）

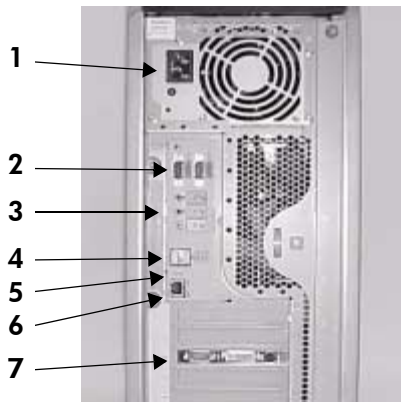


前面パネル（ラック型）

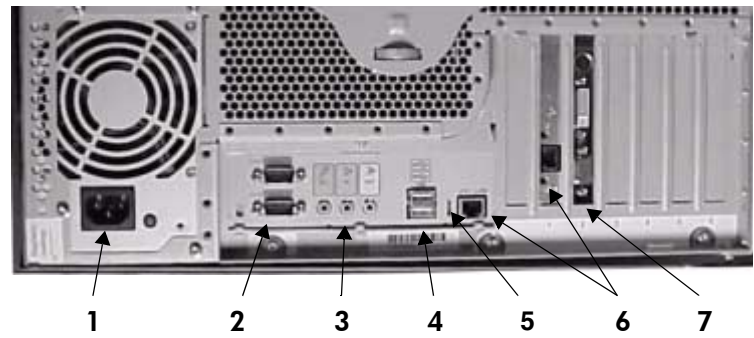
1 光磁気ドライブベイ	5 動作 LED
2 電源 LED	6 診断 LED 1 ～ 4
3 電源ボタン	7 フロント アクセス USB コネクタ (ドアの裏)
4 システム LED	8 ロケーター LED およびボタン (ラックマウント型のみ)

背面パネル

コネクタの形状に合わせて、決まった方向から差し込んでください。
ワークステーションの背面にあるラベルを参照してください。



背面パネルコネクタ（タワー型）



背面パネルコネクタ（ラックマウント型）

1 電源	5 LAN LED
2 シリアルポート	6 内蔵 LAN、 オプション LAN ポート
3 オーディオ（ヘッドホン、マイク ロホン）	7 グラフィックスカード上のモニター ポート
4 USB	

システムのセットアップ



警告： システムやモニターを安全に持ち上げる自信のない方は、一人で移動しないでください。

1. すべてのコンポーネントが揃っているかどうかをシステムに付属のリストで確認します。
2. システムは、背面コネクタに手が届きやすい場所に設置します。
 - ❑ システムがタワー型である場合は、電源コンセントに近く、キーボードやマウス、その他のアクセサリを置くのに十分なスペースがある場所に設置します。
 - ❑ システムをラックマウント型として使用する場合は、システムに付属のマウント手順を参照してください。

工具

システムのセットアップには、工具は必要ありません。ただし、システム内部のコンポーネントの取り付け、交換には、以下のものが必要となります。

- マイナスドライバ
- T-15 トルクスドライバ
- 特別なプロセッサツール（プロセッサに付属）
- 帯電防止マット
- 帯電防止ストラップ



警告： 特に金属粒子は電子装置の周りで害を及ぼす可能性があります。これは、さまざまな場所（高床のフロアタイル、古くなったエアコン部品、暖房管、掃除機の回転ブラシ、プリンタコンポーネントの磨耗、その他）からデータセンター環境に入り込むことがあります。金属粒子は電気を通すため、電子装置内でショートを発生させる恐れがあります。これは、電子装置の回路の密度が高くなるほど大きな問題となります。

時間がたつと、電気メッキ（亜鉛、カドミウム、錫）の表面に、純粋金属の微細なウィスカ（結晶）が発生する可能性があります。このようなウィスカが崩れると、表面からはがれて空中に浮揚し、障害や動作の中断の原因とな

ることがあります。50 年の間に、電子産業界は、比較的まれではあるが発生する可能性のある、金属粒子による障害の危険性を認識するようになりました。近年では、このような伝導性の有害物質が、コンピュータールームの高床のフロアタイルの底から発生する可能性についての危惧が高まっています。

これは比較的まれですが、コンピュータールーム内で問題になることがあります。金属粒子は電子装置の恒久的または断続的な障害の原因になりうるため、HP 社では、電子装置を設置する前に、その場所で金属粒子の影響について評価を行うことを強くお勧めしています。

デバイスの接続

システムにコードやケーブルを接続する前に、本書の「警告」の項に記載されている注意事項をよくお読みください。

電源コード、キーボードとマウス

電源コード、キーボードとマウスを接続するには、以下を行います。

1. 電源コードを モニターおよびコンピュータの背面に接続します。
2. 両方の 電源コードを、アース付きコンセント (タワー型システムの場合) またはラック上の配電ユニット (PDU)(ラック型システムの場合) に接続します。
3. キーボードとマウスを接続します。このシステムでは標準の 104 キーボードと USB コネクタを使用します。システム背面の USB ポートに差し込みます。(ポートにはラベルがついています。)



警告：安全のため、必ずアース付きの壁面埋込型コンセントに装置を接続してください。電源コードは、この装置に付属するコードまたは国の安全基準に準拠したコードなど、適切にアースされたプラグ付きのコードを必ず使用してください。電源コードをコンセントから取り外すことによって確実に装置を電源から切り離すことができるように、簡単にコンセントに手が届く場所に装置を設置してください。

グラフィックスカード

zx2000 ワークステーションは、以下のいずれかのグラフィックスカードを取り付けることができます。

- グラフィックスカードには、15 ピンコネクタ、18 ピンコネクタのどちらか、または両方が含まれます。各モニターに接続ケーブルは1つのみ必要です。
- ビデオカードがシステムにプリインストールされている場合があります。他のカードは個別に包装され、システムと一緒に出荷されます。ワークステーションにグラフィックスカードがプリインストールされずに出荷された場合は、カードを取り付けてドライバをロードする必要があります。手順については、グラフィックスカードに付属のマニュアルを参照してください。
- グラフィックスカードの詳細は、製造元の Web サイトを参照してください。
 - ATI: **www.ati.com**
 - NVIDIA: **www.NVIDIA.com**
- 現在サポートされているカードとサポートされる解像度と周波数のリストについては、『*hp zx2000 Technical Reference Guide*』を参照してください。
 - 85Hz 以上の周波数で、人間工学上好ましいちらつきのない表示が得られます。
 - DC-2B または DDC-2B+ に準拠しているモニターを選択すると、グラフィックスカードの設定は、自動的にモニターがサポートする解像度と周波数に制限されます。この場合、この項の表を参照してモニターを選択する必要はありません。



注意：モニターの損傷を防ぐため、ご利用になりたいモニターが、お好みの解像度と周波数をサポートしているかどうかを確認してください。

システムの起動と停止

zx2000 ワークステーションは、いくつかの異なる構成で出荷されます。以下の指示に注意して、購入いただいた OS およびパッケージにあうオプションを選択してください。

システムの起動

システムを起動するには以下の手順を行います。

1. システムを起動する前に、モニターの電源をオンにします。
2. フロントパネルの電源ボタンを押します。するとシステムが起動します。

システムの起動中に、1 分ほどディスプレイに何も表示されないことがあります。これは正常です。以下が起こることがあります。

- ☐ 電源 LED が点灯します。
 - ☐ システム LED が点滅します。
 - ☐ 診断 LED 1 ～ 4 がスクロールパターンを作成します。
3. パスワードの入力を求められたら、パスワードを入力して **[Enter]** を押します。

EFI Boot Manager プログラムでパスワードを設定した場合はプロンプトが表示されます。(21 ページの「[Security/Password Menu] の使用」を参照してください。)

ソフトウェアの初期化

zx2000 は、オペレーティングシステム（OS）をプリインストールした状態、または個別に出荷することができます。

- OS がプリインストールされたシステムを購入された場合は、ワークステーションの初回起動時に初期化プロセスが始まります。

ソフトウェアの初期化プロセスは数分かかります。ソフトウェアの初期化が終了してから、設定を変更することができます。



注意：ソフトウェアの初期化中に電源を切断しないでください。電源を切断すると予期せぬ結果が生じることがあります。

初期化プロセスでは以下が行われます。

- ☐ 使用許諾契約書を表示します。
- ☐ システムに関する質問を提示します。
- OS がプリインストールされていないシステムを購入された場合は、OS をインストールします。
 - ☐ **HP-UX:** HP-UX CD に添付されている指示に従って OS をインストールしてください。
 - ☐ **Linux:** Linux OS CD に添付されている指示に従って OS をインストールしてください。
 - ☐ **Windows:** プリインストールのみです。

システムの停止

システムを停止するには以下の操作を行います。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. OS で用意されている Shut Down コマンドを実行します。
3. プロンプトが表示されたら、システムの電源ボタンを押します。

注記：電源ボタンでシステムを停止することもできます。電源ボタンを押すと、OS が停止し電源が切断されます。

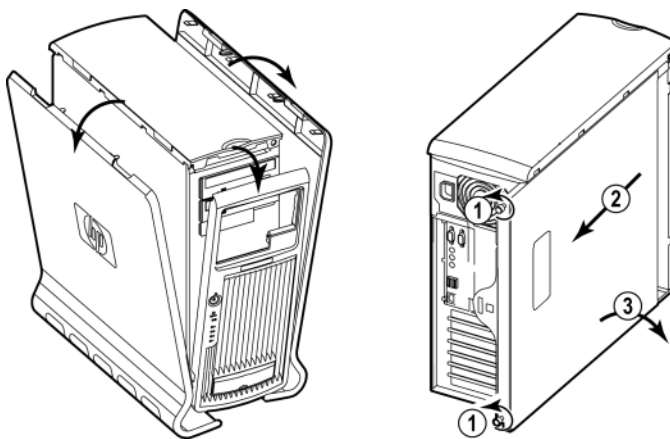
ハードウェア コンポーネントの取り付け

工場出荷時にシステムに取り付けられていないアクセサリカード、グラフィックスカード、その他のハードウェア コンポーネントを購入された場合は、この時点で取り付けを行います。

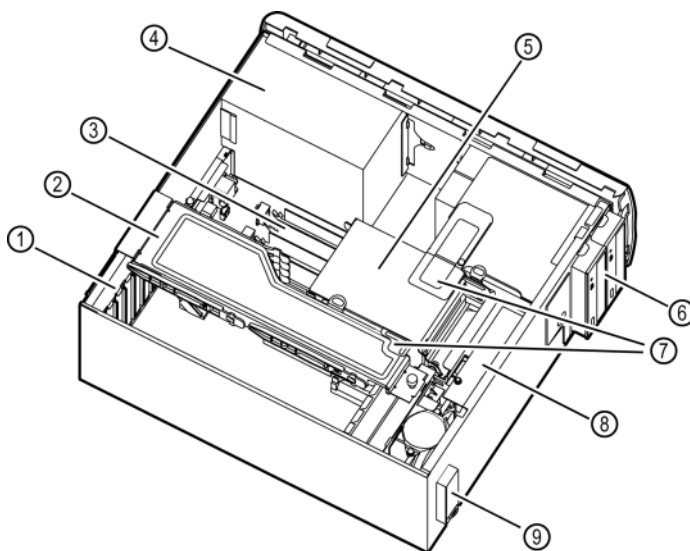
警告： ハードウェアの取り付け手順では、かならずシステムの電源を切断し、電源コードをコンセントから引き抜いてください。

注記： FCC/EMI（Electromagnetic Interference）に準拠するために、コンポーネントを交換した後、すべてのカバーを取り付け、すべてのネジが適切な位置にとめられていることを確認してください。

1. すでにシステムを接続して電源を入れている場合は、システムの電源を切断し、電源ケーブルと他のすべてのケーブルをシステムの背面から取り外します。
2. 金属カバーを取り外します。



3. 新しいコンポーネントを取り付けます。下の図に内部コンポーネントの場所を示します。



① PCI および AGP スロット	⑥ 光磁気ドライブ
② PCI/AGP 固定アーム	⑦ 出荷用ネジ
③ メモリ	⑧ ファン
④ 電源装置	⑨ フロントアクセス USB
⑤ ハードドライブケージ	

ハードウェア コンポーネントの取り付けの詳細については、『*hp zx2000 Technical Reference Guide*』を参照してください。

4. 金属カバーを取り付けます。
5. システムを接続します。

ファームウェアとドライバ

ご使用のシステムに対応した最新のドライバやファームウェアは、以下の HP サポート Web サイトの「Software and Drivers」セクションからダウンロードできます。

www.hp.com/go/bizsupport

または、**www.jpn.hp.com/go/ws_support** (日本語) を参照してください。

このサイトでは、ファームウェアのアップグレード手順を参照したり、新しいドライバが公開された場合に、情報を自動的に入手するための登録も行えます。

システムの構成

システム構成をセットアップする際に便利なツールが 2 つあります。

- EFI (Extensible Firmware Interface)
- BMC (Baseboard Management Controller)

この項では、これらのツールを簡単に紹介します。詳細については、『zx2000 Technical Reference Guide』の「System Configuration」を参照してください。

EFI(Extensible Firmware Interface)

EFI (Extensible Firmware Interface) は、HP-UX オペレーティングシステムと Itanium Processor Family(IPF) プラットフォームのファームウェア間のインタフェースです。

電源を投入して起動プロセスが開始されると、**boot option** 画面が表示され休止します。

```
EFI Boot Manager ver x.xx [xx.xx]
```

```
Please select a boot option
```

```
[ お使いの OS が表示されます ]
```

```
EFI Shell [Built-in]
```

```
Boot option maintenance menu
```

```
Security/Password Menu
```

```
Use up and down arrows to change option(s).
```

```
Use Enter to select an option
```

注記: システムがデフォルトの OS でブートする前にブートオプションを変更する時間が 7 秒間あります。

上向き矢印または下向き矢印キーを使用してオプションを強調表示してから、**[Enter]**を押します。

- **[EFI Shell [Built-in]]** は、CLI(コマンドラインインタフェース)で、これにより EFI コマンドを使用したり自動スクリプトの作成や実行を行うことができます。
- **[Boot Option Maintenance Menu]** を使用するとオペレーティングシステムのブート時に BIOS がデバイスを検索する順序を選択することができます。構成ファイルからブートするようにシステムを構成することもできます。
- **[Security/Password Menu]** を使用すると、システム管理者およびユーザーパスワードの追加、変更、削除を行うことができます。

リモート アクセス

EFI にリモートでアクセスすることもできます。

1. ワークステーションの電源を切断し、9 ピン—9 ピンシリアルケーブルを、ワークステーションの背面パネルにあるシリアルポート A と、リモート デバイスに接続します。
2. 端末エミュレーションソフトウェアの構成では、以下の設定を行います。
 - ☐ 通信速度 : 9600
 - ☐ ビット : 8
 - ☐ パリティ : なし
 - ☐ ストップビット : 1
 - ☐ フロー制御 : XON/XOFF
3. 端末エミュレーションソフトウェアを使用して、*直接接続*でワークステーションに接続します。

注記 : デフォルトの端末エミュレーションタイプは VT100+ です。この設定は、EFI の **[Boot Options Maintenance Menu]** から変更することができます。

4. ワークステーションに電源を投入し、次の手順に従い EFI にアクセスします。

EFI シェルの使用

EFI シェルにアクセスするには、以下を行います。

1. boot option 画面が表示されたら、矢印キーを使用して **[EFI Shell]** を強調表示して、**[Enter]** を押します。
2. ファイルシステム（ドライブとパーティション）の一覧と、ハードウェアドライブ上のブロックデバイスが表示されます。例を示します。

Device mapping table

fs0: Acpi (HWP0002,100) /Pci (1|0) /Scsi (Pun0,Lun0) /HD (Part1,Sig00112233)

blk0: Acpi (HWP0002,0) /Pci (2|0) /Ata (Primary,Master)

blk1: Acpi (HWP0002,100) /Pci (1|0) /Scsi (Pun0,Lun0)

3. EFI シェルは初めにファイル名が startup.nsh のオブションスクリプトファイルを検索します。このファイルが見つかった場合、自動的に実行されます。スクリプトが自動的に OS または他のアプリケーションを開始しない場合、シェルはコマンドプロンプトを表示してコマンドの入力を待ちます。

4. ここでコマンドを入力できます。

個別のコマンドを実行するには、以下を行います。

- a. シェルプロンプトでコマンドを入力します。たとえば、モニターの表示をクリアするには以下を入力します。

```
Shell:\> cls
```

- b. [Enter] を押してコマンドを実行します。

- ◆ 動作を定義するために追加の引き数を必要とするコマンドがあります。たとえば、システムメモリの情報を表示するには、以下のように、コマンド名に加えて希望する情報のカテゴリを入力する必要があります。

```
fs0:\> info mem
```

- ◆ コマンドプロンプトで個別のコマンドを入力すると、シェルは変数置換を行い、ワイルドカードを展開して、コマンドを実行します。
- ◆ 異なるファイルシステムに切り替えるには、画面に一覧表示された fsx が選択したファイルシステム（手順 2 を参照）である場合、以下を実行します。

```
Shell> fsx:
```

以下のプロンプトが表示されます。

```
fs0:\> _
```

- ◆ EFI アプリケーション（.efi で終わるファイル）を実行することもできます。現在のファイルシステム上のアプリケーションを一覧表示するには、**ls** コマンドを実行します。

この項では、EFI コマンドカテゴリの一覧について説明します。EFI コマンドについての詳細は、『*hp zx2000 Technical Reference Guide*』、または、EFI シェルのヘルプシステムを参照してください。

- EFI コマンドカテゴリの一覧を表示するには、EFI シェルプロンプトで **help** を実行します。
- コマンドの詳しい説明を表示するには、EFI シェルプロンプトで、**help** の後ろにコマンド名を入力します。たとえば、次のように入力します。

```
fs0:\> help date
```

EFI コマンドは、その機能により異なるクラスに分類されます。以下のクラスがあります。

- **boot** — ブートオプションとディスクに関連するコマンド
- **configuration** — システム情報の変更と検索
- **device** — デバイス、ドライバ、ハンドル情報の入手
- **memory** — メモリ関連のコマンド
- **shell** — 基本的なシェルナビゲーションとカスタマイズ
- **scripts** — EFI シェルスクリプト コマンド

[Boot Option Maintenance Menu] の使用

このメニューを利用すると、コンソール出力の選択とブートオプションに加えて入力デバイスの選択ができます。

- コマンドの利用可能なヘルプを表示するには、[Help] を選択します。
- [Boot Option Maintenance Menu] に戻るには、[Exit] を選択します。
- 矢印キーを使用して [EFI Shell] を強調表示して、[Enter] を押します。
- 変更を保存するには、[Save Settings to NVRAM] を選択します。

[Boot Option Maintenance Menu] には以下のオプションが含まれます。

オプション	機能
Boot from a File	手動で特定のアプリケーションまたはドライバを実行します。
Add a Boot Option	EFI ブートメニューに項目を追加します。
Delete Boot Option(s)	EFI ブートメニューから項目を削除します。
Change Boot Order	ブートオプションの順番を変更します。EFI ブートメニューの項目もシステムがブートする順番を反映します。
Manage BootNext Setting	次のシステムブート時に実行するブートオプションを選択します。これにより恒久的なシステムブートの設定は変更されません。
Set Auto Boot TimeOut	ブートオプションリストから最初の項目を開始するまで、システムが停止する時間を設定します。
Select Active Console Output Devices	システムコンソールからの出力を表示するデバイスを定義します。
Select Active Console Input Devices	システムコンソールへの入力を供給するデバイスを定義します。
Select Active Standard Error Devices	システムコンソールからのエラーメッセージを表示するデバイスを定義します。
Cold Reset	システムをシャットダウンして再起動します。
Exit	EFI 起動メニューに戻ります。

[Security/Password Menu] の使用

管理者とユーザーのパスワードを設定して、システムのファームウェアに対するアクセスレベルを区別することができます。

- **管理者**は、EFI Boot Manager プログラムのすべての設定にアクセスし変更すること、EFI シェルを実行することができます。
- **ユーザー**は、EFI Boot Manager の基本的な機能を使用します。

注記： のパスワードは、ファームウェアインタフェースのアクセスのみを制限します。EFI へのアクセスを制限する場合は、パスワードを作成する必要があります。工場出荷時にパスワードは設定されていません。

これは OS のパスワードではありません。OS のパスワードの設定については、OS のユーザーガイドを参照してください。

[Security/Password Menu] を使用して、管理者およびユーザーのパスワードを変更することができます。手順は以下のとおりです。

1. **[Security/Password Menu]** を選択します。
2. 次のいずれかを選択します。
 - ☐ **[Set Administrator Password]**
 - ☐ **[Set User Password]**
3. 次のいずれかを実行します。
 - ☐ **[Set Administrator Password]** もしくは **[Set User Password]** で新しいパスワードを設定します。
 - ☐ **[Enable/disable Password]** で、パスワードを要求するかどうかを指定します。
 - ☐ **[Help]** で、ヘルプを参照します。
4. 作業が完了したら、**[Exit]** を選択します。

BMC (Baseboard Management Controller)

BMC は、業界標準の IPMI (Intelligent Platform Management Interface) 仕様をサポートしています。この仕様は、システムボードに組み込まれる管理機能について規定するものです。これらの機能には以下があります。

- ローカルおよびリモート診断
- コンソールサポート
- 構成管理
- ハードウェア管理
- トラブルシューティング

BMC コマンドのリストについては、『*zx2000 Technical Reference Guide*』の「System Configuration」の項を参照してください。

トラブルシューティング

この章には、システムを立ち上げ、問題が発生した場合の基本的なトラブルシューティングについての情報が記載されています。

- システムが正常に起動しない
- ハードウェアの問題
 - キーボードの問題
 - マウスの問題
 - グラフィックスと モニターの問題
- LED および d e-buzzer コードによるトラブルシューティング
- ソフトウェア診断ツール
- OS のリストア
- お問い合わせ先

注記: 技術サポートが必要な場合は、www.jpn.hp.com/ahp/contact (日本語) を参照してください。

システムが正常に起動しない

システムの電源が入りません。

確認事項	対処方法
------	------

システムの電源コードがしっかりと接続されていますか。

通電しているコンセントに電源コードが接続されていることを確認します。

ブザーが鳴ります。

システムの起動時に特定のビーブ音が鳴るのは、構成に問題があることを示しています。e-buzzer コードは LED 診断コードと関連があります。「LED および e-buzzer コードによるトラブルシューティング」の項を参照してください。

確認事項	対処方法
------	------

e-buzzer コードを特定します。

ブザーが鳴った後のビーブ音の回数を数えます (2-9 ページの「e-buzzer によるトラブルシューティング」を参照)。
HP のサポートに連絡します 2-16 ページを参照)。

問題が解決されない場合は、2-11 ページの「ソフトウェア診断ツール」を参照してください。

ハードウェアの問題

キーボードの問題

キーボードが動作しません。

確認事項	対処方法
キーボードのケーブルが正しく接続されていますか。また、マウスのドライバはロードされていますか。	キーボードのケーブルを、システムの背面の正しいポートに接続します。簡単にわかるようにポートにはラベルがついています。 起動時にマウスドライバをロードするためにワークステーションをリブートします。
キーボードに異物はありませんか。	キーの高さがすべて同じかどうか、押されたままのキーがないかどうかを確認します。
キーボード自体に異常はありませんか。	正常に動作している装置のキーボードと交換するか、キーボードを他のシステムで使用してみます。
適切なドライバを使用していますか。OS のマニュアルを参照してください。	最新のドライバを以下のサイトからダウンロードします。 www.hp.com/go/bizsupport
最新のファームウェアを使用していますか。	最新のファームウェアを以下のサイトからダウンロードします。 www.hp.com/go/bizsupport

マウスの問題

マウスが動作しません。

確認事項

対処方法

マウスのケーブルは正しく接続されていますか。

ケーブルを、システムの背面の USB ポートに接続します。簡単にわかるようにポートにはラベルがついています。

適切なドライバを使用していますか。HP 社の拡張マウスを使用している場合は、正しいドライバをインストールしてください。このドライバはすべての **Linux** がプリインストールされたシステムに提供されています。

最新のドライバを以下のサイトからダウンロードします。

www.hp.com/go/bizsupport

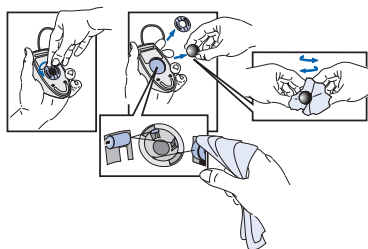
最新のファームウェアを使用していますか。

最新のファームウェアを以下のサイトからダウンロードします。

www.hp.com/go/bizsupport

マウスが汚れていませんか。

マウスボールを以下の図のように清掃してください。



マウス自体に異常はありませんか。

正常に動作している装置のマウスと交換するか、マウスを他のシステムで使用してみます。

システムが起動しても、問題が解決されない場合は、2-11 ページの「ソフトウェア診断ツール」を参照してください。

グラフィックスとモニターの問題

モニターが動作しません。

システムの電源インジケータランプは点灯しますが、モニターには何も映りません。

確認事項	対処方法
モニターの電源コードはしっかりと接続されていますか。	電源コードが通電しているコンセントとモニターに差し込まれているか確認します。
モニターの電源はオンになっていますか (LED が点灯していますか)。	LED の点灯状態についての説明は、モニターのマニュアルを参照してください。
グラフィックスカードが取り付けられていて、モニター (ビデオ) ケーブルも正しく接続されていますか。	モニター (ビデオ) ケーブルが、システムとモニターに正しく接続されていることを確認してください。ケーブルがグラフィックスカードのコネクタに接続されていることを確認してください。
モニターの明るさとコントラストは正しく設定されていますか。	モニターの OSD (オンスクリーンディスプレイ) またはモニター前面の調節つまみやボタンを使用してモニターの設定を確認してください。
EFI コンソール出力の設定は正しいですか。	[EFI Boot Options Maintenance Menu] を使用して、設定を確認して正しく設定します。手順については 1-20 ページを参照してください。
システムが起動しても、問題が解決されない場合は、2-11 ページの「ソフトウェア診断ツール」を参照してください。	

システム LED によるトラブルシューティング

システムの前面にはいくつかの LED があります。以下の項では、それらの機能について説明します。

電源 LED とシステム LED

電源 LED とシステム LED はシステムの状態を示します。

電源 LED	システム LED	状態
オフ	オフ	オフ
オン (緑)	緑で点灯	稼動中
オン (緑)	オフ	ブート中
オン (緑)	オレンジで点滅 (1 回 / 秒)	注意
オン (緑)	赤で点滅 (2 回 / 秒)	障害

動作 LED

動作 LED は、システムのディスクとドライブの動作状態を示します。

注記：動作 LED は 2003 年 3 月以降に購入されたシステムでのみ動作します。

注記：動作 LED は自動的に IDE HDD または光磁気ドライブと通信します。SCSI ドライブと通信するには、SCSI LED 動作ケーブルが SCSI カードとシステムボードに接続されている必要があります。

動作 LED	状態
オフ	オフまたは現在ディスク / ドライブは動作していません
点滅 (緑)	ディスク / ドライブへのアクセスが行われています

ロケーター LED とロケーターボタン (ラックマウント型システムのみ)

1 台のラック上に類似したシステムが複数あると、メンテナンスを必要とするのがどのコンピュータなのかを特定するのが難しい場合があります。ロケーター LED を利用すると、ラック内のシステムの識別が容易になります。

ロケーター LED を有効にするには、システムの前面ベゼル上のロケーターボタンを押します。

注記: BMC コマンドによってロケーター LED を点灯させることもできます。『*HP zx2000 Technical Reference Guide*』を参照してください。

ロケーターボタンを押し込むと、ロケーター LED はシステムの前面と背面の両方で 1 秒に 1 回、青で点滅し始めるので、メンテナンスの必要なシステムの場所が簡単に分かります。

診断 LED

システムの前面ベゼル上にある 4 つの診断 LED には、1 から 4 までのラベルが付いています。『*hp zx2000 Technical Reference Guide*』の第 4 章に、LED の点灯パターンに関連付けられた障害の一覧表が記載されています。

LAN LED (背面パネル)

システムの背面パネル上にある 4 個の LAN LED は、LAN の動作状態を示します。

LAN LED	位置	色	状態
1. Gbit	タワー型: 右	オフ	1000Mbps のリンクなし
	ラックマウント型: 上	緑	1000Mbps LAN ポートにおけるリンクを示します
2. 100mb	タワー型: 右から 2 番目	オフ	100Mbps のリンクなし
	ラックマウント型: 上から 2 番目	緑	100Mbps LAN ポートにおけるリンクを示します
3. リンク	タワー型: 左から 2 番目	オフ	LAN 接続なし
	ラックマウント型: 下から 2 番目	緑	LAN ポート上のリンク接続を示します
4. 動作	タワー型: 左	オフ	LAN 動作なし
	ラックマウント型: 下	緑	点滅または点灯したままの緑の LED は LAN ポート上の動作を示します

e-buzzer によるトラブルシューティング

システムを起動すると、ファームウェアはブート前の診断を実行してハードウェアの構成に問題がないかどうかをテストします。診断中に問題が検出されると、e-buzzer はビープ音、および暗号化されたエラーメッセージを発行します。

e-buzzer はエラーのタイプごとに、異なる数のビープ音を出します。より詳細な情報は、システム LED で調べます。

ビープ音の 回数	コンポーネント	説明
1	プロセッサ	プロセッサが装着されていないか、接続方法が正しくありません。プロセッサを再装着または交換してください。
2	電源装置	電源装置が故障しています。電源装置を交換してください。
3	メモリ	メモリが存在しないか、不良なメモリモジュールまたは互換性のないメモリモジュールが存在します。メモリのローディングの順番を確認してください。メモリを再装着または交換してください。
4	グラフィックスカード	グラフィックスカードに問題があります。グラフィックスカードを再装着または交換してください。
5	PCI カード	PCI カードに問題があります。PCI カードを再装着または交換してください。
6	一般的な故障	可能性のある問題は以下があります。システムボートの故障、CUP 接続の問題、CPU の故障、CPU 電源の故障。 詳細とアドバイスについては、『hp zx2000 Technical Reference Guide』を参照してください。
7	システムボード	システムボードに障害があります。サポートに連絡してください。

注記：ビープコードを聞き取れなかった場合は、再び信号を送ります。電源ボタンを 3 秒間押すことによってビープ音が鳴り始めたらボタンを放します。

e-buzzer は、必要に応じて HP サポート窓口に通話を通じて送信できる電子信号も発行します。HP サポート窓口の装置を使用してこの信号をデコードすると、ワークステーションのモデル、シリアル番号、障害についての詳細を読み取ることができます。この信号を HP サポート窓口に送信するには、システムのブート時にシステムの前面ベゼルに受話器をあてます。

ソフトウェア診断ツール

この項では、以下の診断ツールについて説明します。

- HP e-DiagTools によるハードウェアの診断
- その他の HP-UX 診断ツール

HP 診断ソフトウェアを実行する前に、e-buzzer および LED エラーがあれば、それを書き留めます。

HP e-DiagTools によるハードウェアの診断

システムには、HP e-DiagTools というハードウェア診断ユーティリティが格納された *HP IPF Offline Diagnostics and Utilities* CD が付属しています。これらのユーティリティは、HP システムのハードウェア関連の問題を診断するために使用します。

保証サービスについて HP に問い合わせる前に、e-DiagTools を実行してください。ユーティリティを実行すると、サポート担当者が必要とする情報を得ることができます。

このユーティリティでは、以下の作業を実行できます。

- ハードウェアの構成をチェックし、この構成が正常に機能していることを検査します。
- 個々のハードウェア コンポーネントをテストします。
- 完全なハードウェアの構成を取得します。
- HPサポート担当者が問題を迅速かつ効率的に解決できるように、正確な情報を提供します。

HP e-DiagTools は、*ODE (Offline Diagnostics Environment)* にわかりやすいインタフェースを提供し、OS が実行されていないシステムやオンラインツールを使用してテストすることができないシステムのトラブルシューティングが可能となります。ODE では、コマンドラインインタフェースから個別に実行することができるため、ユーザーが特定のテストやユーティリティを選択して、特定のハードウェアモジュールで実行することができます。詳細については、『*hp zx2000 Technical Reference Guide*』を参照してください。

HP e-DiagTools の起動

1. *HP IPF Offline Diagnostics and Utilities* CD を CD または DVD ドライブに挿入します。
2. システムを再起動します。
3. EFI 起動メニューから、CD/DVD ブートオプションを選択します。

注記 : CD/DVD ドライブからブートできない場合は、システムを再起動し、**[Boot Options Maintenance Menu]** でブートオプションを調べ、システムが CD/DVD からブートするように構成します。

4. e-DiagTools に慣れていない場合は、マニュアルを見直してください。メインメニューから以下を実行します。
 - a. **[View Release Notes and Documentation Menu]** を選択して利用可能なマニュアルの一覧を表示します。
 - b. **[View e-DiagTools Info]** を選択してマニュアルの概要を開きます。
5. e-DiagTools に慣れている場合は、メインメニューから **[Run e-DiagTools for IPF]** を選択します。

サポートチケットの作成

システム構成とテスト結果を完全に記録するには、サポートチケットを作成する必要があります。これは、必要な情報を含む単純なテキストファイルです。サポートチケットは、貴社内または HP のサポート担当者にとって必要不可欠な情報が含まれています。

サポートチケットを作成するには、[**Welcome to e-DiagTools**] メニューから次の操作を行います。

1. e-DiagTools を起動して、メインメニューから [**Run eDiagTools for IPF**] を選択します。
2. システムでまだ診断を実行していない場合、[**2 - Run e-DiagTools Basic System Test (BST)**] を選択すると診断が実行されます。

e-DiagTools はシステムをチェックします。構成検出のフェーズが完了すると、画面に構成の記述が表示されます。

3. [**2 - Continue Test**] を選択して、残りの診断テストを実行します。
4. テストが完了したら、以下を行います。
 - ☐ **4** を押してサポートチケットを表示します。(スクロールするには矢印キーを使用します。)
 - ☐ **3** を押してサポートチケットツールを終了します。

e-DiagTools ユーティリティについての詳細は、『*hp zx2000 Technical Reference Guide*』を参照してください。

その他の HP-UX 診断ツール

その他にも、HP-UX が動作するシステムの問題を特定する上で役立つユーティリティをいくつか提供しています。以下のようなツールがあります。

- *Support Tools Manager*: HP-UX では、STM (Support Tools Manager) というオンライン診断製品を使用してシステムの動作を検証します。Support Tools Manager では、CLI: コマンドラインインタフェース (**csfm** コマンドでアクセス)、メニュー形式のインタフェース (**msfm** コマンドでアクセス)、GUI: グラフィカルユーザーインタフェース (**xsfm** コマンドでアクセス) の 3 つのインタフェースを使用できます。
- *Event Monitoring*: Event Monitoring Service は、ハードウェア監視を行います。ハードウェア監視は、ハードウェア資源 (たとえばディスク) について、イベントと呼ばれる異常な動作が発生しないかどうかを監視するプロセスです。イベントが発生すると、さまざまな通知方法 (たとえば電子メール) でそれが報告されます。イベントの検出と通知はすべてが自動的に処理されるため、ユーザーの介入は最小限になります。

より詳細な HP-UX 診断ツールのインストールと使用方法については、『*Operations and Maintenance Guide*』の第 4 章を参照してください。HP-UX 診断ツールの完全な説明については、次の Web サイトを参照してください。

docs.hp.com/hpux/diag/

OS の復元

システムには CD または DVD が付属されて出荷されています。これは、OS とドライバやその他の付属ソフトウェアコンポーネントの再インストールを行う際に使用します。これらのドライバおよびソフトウェアユーティリティには、マニュアルや操作ガイドが含まれており、プリインストールソフトウェアの復元に役立ちます。

手順、マニュアルおよびメディアは OS により異なります。

■ HP-UX

- ☐ *HP Recovery CD for HP-UX*
- ☐ CD のジャケットに記載の指示
- ☐ **www.hp.com/go/bizsupport**

■ Windows

- ☐ *Windows XP 64 Bit Edition 2003 Recovery DVD*
- ☐ DVD のジャケットに記載の指示
- ☐ Windows Explorer から DVD コンテンツにアクセス

■ Linux

- ☐ *HP Enablement Kit for Linux CD*
- ☐ *HP Enablement Kit for Linux booklet* のブックレットに記載の指示
- ☐ **docs.hp.com/linux** の「Linux for Itanium 2-based Servers and Workstations」の下



注意： Recovery CD を使用すると、ハードディスク内の現データが完全に消去されます。Recovery CD を使用する前に、必ずデータおよび作成したファイルのバックアップを行ってください。

お問い合わせ先

HP サポート窓口では、当社製品についての問題を解決するためのサポートや、必要に応じて適切なサービスの手続きを行っています。サポートは Web サイト、または電話からご利用いただけます。

HP サポート窓口の連絡先については、次の Web サイトで調べることができます。

www.hp.com/go/bizsupport

www.jpn.hp.com/ahp/contact (日本語)

サポートに連絡する情報の収集

サポートに連絡する前に、以下を行います。

1. 以下の情報を集めます。
 - ☐ ワークステーション モデル番号 (zx2000)
 - ☐ シリアル番号 (フロントアクセス USB ドアの内側のラベルに記載)
 - ☐ 製品番号 (該当する場合はシリアル番号の横に記載)
2. システム構成を確認して、以下の発生したエラーを書き留めます。
 - ☐ 問題はいつから発生しましたか。
 - ☐ 最近システムを変更しましたか。
 - ☐ インストールされているファームウェアのバージョン。
 - ☐ 最近ファームウェアの設定を変更しましたか。
 - ☐ インストールされているメモリはいくつですか。HP 製ですか。他社製のメモリですか。
 - ☐ どのアクセサリカードスロットを使用していますか。
 - ☐ システムにインストールしている OS は何ですか。
 - ☐ 異なる OS に変更しましたか。変更した場合はどの OS のどのバージョンですか。
 - ☐ OS からエラーメッセージは出力されますか。
3. この章の前の項をチェックして、問題の解決を試みてください。

4. LED および e-buzzer コードを使用して、対処方法に従い問題の解決を試みてください。
 - ❑ LED のエラーはありますか。(ブート時に画面に表示されません。LED に共通のエラーと対処方法の一覧については、2-6 ページの「システム LED によるトラブルシューティング」を参照してください。)
 - ❑ e-buzzer のエラーはありますか。(ブート時のビープ音です。ビープ音と対処方法の一覧については、2-9 ページの「e-buzzer によるトラブルシューティング」を参照してください。)
5. システムの診断ソフトウェアを使用します。(2-11 ページの「ソフトウェア診断ツール」を参照してください。)
6. HP e-DiagTools を実行して、サポートチケットを作成してください。(2-11 ページの「HP e-DiagTools によるハードウェアの診断」を参照してください。)

オンラインサポート

HP サポート窓口にオンラインで連絡するには、『*Worldwide Limited Warranty and Technical Support Guide*』を参照してください。または、**www.hp.com/go/bizsupport** を参照して、検索フィールドに製品名 (zx2000) を入力してください。

注記: Web サイトにアクセスしたら、該当するハードウェアを選択します。選択した刊行物は印刷物としてもご利用いただくことができます。

この Web サイトでは以下の情報もご利用いただけます。

- ファームウェアのアップデート (アップグレードユーティリティと指示を含む)
- 最新のドライバとソフトウェア ユーティリティ
- その他のマニュアル (以下を参照)

電話サポート

HP サポート窓口に電話で連絡するには、**www.jpn.hp.com/ahp/contact** (日本語) を参照してください。

その他のマニュアル

以下は、システムに付属の *Documentation and Utility CD* に含まれるマニュアルの一覧です。これらはすべて、www.hp.com/go/bizsupport で入手することができます。

- 『*Installation Poster*』 — 新しいワークステーションのシステムのセットアップに関する基本的な情報について説明します。
- 『*お使いになる前に*』 (本書) — システムのセットアップ、構成の方法、基本的なトラブルシューティング、保証に関する情報について説明します。
- 『*Technical Reference Guide*』 — 部品の取り付けと交換の方法、トラブルシューティング、構成情報の詳細について説明します。
- 『*快適に使用していただくために*』 — システムを安全に使用し、けがやトラブルを避ける方法について説明します。

CD/DVD に復元についての説明を添付。

- 『*Recovery CD/DVD Instructions*』 — OS を復元する必要がある場合に、システムを工場出荷時の構成に復元する方法の詳細について説明します。

規制に関する情報

この付録では以下について説明します。

- 準拠に関する情報
- 規制に関する情報

Declaration of Conformity according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer: Hewlett-Packard Company
3404 East Harmony Rd.
Fort Collins, CO 80528
USA

Declares that the:

Product Type: Computer Workstation/Server

Marketing Designation(s): zx2000

Regulatory Model Number: FCLSA-0201

Product Options: all

conforms to the following specifications:

Safety. IEC 60950:1991+A1+A2+A3+A4/EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4
IEC 60825-1:1993/EN60825-1:1994+A11 Class 1 for LED's and Lasers
U.S.A 21CFR Subpart J – for FC Laser module
China GB4943-1995
Russia GOST R 50377-92

EMC. CISPR 22: 1997 / EN 55022: 1998 Class A
CISPR 24: 1997 / EN 55024: 1998
Also compliant with...
EN 61000-3-2: 1998
EN 61000-3-3: 1995
EN 61000-4-2: 1999 - 4 kV CD, 8 kV AD
EN 61000-4-3: 1996 - 10 V/m
EN 61000-4-4: 1995 - 2 kV Signal, 4 kV Power Lines
EN 61000-4-5: 1995 - 1 kV Differential mode, 2 kV Common mode
EN 61000-4-8: 1993 - 3 A/m
EN 61000-4-11: 1994
U.S.A FCC Part 15, Class A
Japan VCCI Class A
Australia/New Zealand AS/NZS 2046:1997, AS/NZS 3548:1995
China GB9254-1988
Region of Taiwan CNS 13438:1997 Class A
Russia GOST R 29216-94

and is certified or verified by:

UL Listed to UL1950, 3rd edition, File E146385
cUL Listed to CSA 22.2 No. 950-M93
TUV Certified to EN60950 2nd edition with A1+A2+A3+A4
HP Fort Collins CCQD HTC

Supplementary information:

The product herewith complies with the requirements of the following Directives: Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC directive 89/336/EEC and carries the CE marking accordingly.

This product was tested in a typical Hewlett-Packard system configuration.

For Compliance Information ONLY, contact: European Contact: Hewlett-Packard, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Boeblingen (FAX: +49-7031-14-3143)

Americas Contact: Hewlett-Packard, WGBU Quality Manager., 3404 E. Harmony Road, Fort Collins, CO 80528, U.S.A. (FAX: (970) 898-4556)

Federal Communications Commission Radio Frequency Interference Statement (for USA only)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules and the Canadian Department of Communications. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Hewlett-Packard's FCC Compliance Tests were conducted with HP-supported peripheral devices and HP shielded cables, such as those you receive with your system. Changes or modifications not expressly approved by Hewlett-Packard could void the user's authority to operate the equipment.

Notice for Canada

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la Class A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Safety Warning for the USA and Canada

If the power cord is not supplied with the computer, select the proper power cord according to your local national electric code:

- USA: use a UL listed type SVT detachable power cord.
- Canada: use a CSA certified detachable power cord.

For your safety, never remove the system's cover without first removing the power cord and any connection to a telecommunication network. Always replace the cover before switching on again.

Si le cordon secteur n'est pas livré avec votre ordinateur, utiliser un cordon secteur en accord avec votre code électrique national.

- USA: utiliser un cordon secteur “UL listed,” de type SVT.
- Canada: utiliser un cordon secteur certifié CSA.

Pour votre sécurité, ne jamais retirer le capot de l'ordinateur sans avoir préalablement débranché le cordon secteur et toute connection à un réseau de télécommunication. N'oubliez pas de replacer le capot avant de rebrancher le cordon secteur.

Notice for France

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant.

Notice for the Netherlands

Bij dit apparaat zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet U ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

Notice for Germany

Wenn die Batterie nicht korrekt eingebaut wird, besteht Explosionsgefahr. Zu ihrer eigenen Sicherheit sollten Sie nicht versuchen, die Batterie wiederaufzuladen, zu zerlegen oder die alte Batterie zu verbrennen. Tauschen Sie die Batterie nur gegen den gleichen oder ähnlichen Typ aus, der vom Hersteller empfohlen wird. Bei der in diesem PC integrierten Batterie handelt es sich um eine Lithium-Batterie, die keine Schwermetalle enthält. Batterien und Akkumulatoren gehören nicht in den Hausmüll. Sie werden vom Hersteller, Händler oder deren Beauftragten kostenlos zurückgenommen, um sie einer Verwertung bzw. Entsorgung zuzuführen.

Noise Declaration for Germany

Lärmangabe nach Maschinenlärmverordnung - 3 GSGV (Deutschland) LpA
< 70 db am Arbeitsplatz normaler Betrieb nach EN27779: 11.92.

Notice for Japan (Class A)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Notice for Korea

시용시 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장애감정을 받은
기기이오니, 만약 잘못된 구입하셨을 때에는 구입
한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

Notice for Taiwan

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

保証に関する情報

以下はご購入いただいた製品の保証に関する情報です。よくお読み下さい。

保証サービスについての当社へのお問い合わせ

- 世界各地は、以下を参照してください。
www.hp.com/cpsa-support/guide/psd/expectations.html
- アメリカ合衆国およびカナダは、1-800-593-6631 までお電話ください。

ハードウェアおよびソフトウェアの保証

ヒューレット・パッカード社 (当社) は、ご購入いただいたハードウェア製品に対し (中古品は除く) お客様が製品を受領された時または出荷日から 3 年間、通常の使用下における素材および製造上の瑕疵に対する保証を行います。上記が保証期間となります。

本保証の対象は以下の HP 製品です。

- HP workstation zx2000 - 製品受領の翌日から 3 年間

この限定保証には、保証期間中の、電話によるハードウェアサポート、部品、作業、および翌日訪問修理サービスが含まれます。部品およびサービスは、HP サポート窓口が提供します。

保証条件は、国によって異なる場合があります。詳細は、HP サポート窓口までお問い合わせ下さい。

保証限度

上記で定めた瑕疵の通知を当社が保証期間内に受領した場合は、当社はその裁量により瑕疵があると判断した製品を修理または交換するものとします。当社が妥当な期間内に製品の修理または交換を行わなかった場合には、製品をご返却下さい。ご購入代金をお客様にご返金いたします。

システムプロセッサユニット (SPU)、キーボード、マウス、およびシステムプロセッサユニット内部の当社製アクセサリ (ビデオアダプタ、大容量記憶装置、およびインタフェースコントローラなど) は本保証の対象となります。システムプロセッサユニットの外部の当社製品 (外付け大容量記憶サブシステム、ディスプレイ、プリンタ、その他の周辺装置) については、その製品に適用される保証内容を確認して下さい。

ハードウェアアクセサリとは、HP workstation での使用を目的に設計もしくはサポートされているハードウェア製品であり、HP workstation に追加もしくは組み込むことで性能・容量・機能などを拡張するものです。ハードウェアアクセサリは、当社の価格リストに製品として記載されています。HP ワークステーションの内部に取り付けた後は、このアクセサリに付属されている保証が適用されません。

当社は、次の事由による瑕疵の責任を負いません。a) 不適切なキャリブレーションや保守、b) 当社が提供した以外のソフトウェア、インタフェース部品、備品、c) 不正な変更や誤用、d) 製品の環境仕様外での操作、e) 輸送時の損傷、f) 現場の不適当な準備作業または保守作業、g) 他社のソフトウェア、アクセサリ、媒体、備品、消耗品、または本製品での使用を目的として設計されていないものから生じた瑕疵

バンドルまたはプリロードされたソフトウェアをワークステーションに再ロードすることは、当社の保証対象ではありません。当社製品には、新品と同じ性能の再生部品または一時的に使用された再生部品が使用されていることがあります。

当社は、本製品に関し、各地域で適用される法律に基づいた上で、書面または口頭を問わず他の保証は一切行いません。特に、市場性、満足できる品質、特定目的に対する適合性の黙示保証は一切行いません。国または州によっては黙示保証の期間制限が認められていないため、上記の制限ないし免責は適用されない場合があります。

本保証は、世界各地で定められている特定の条件（最寄りの当社営業所にお問い合わせ下さい）に基づき、当社または正規の HP コンピュータ販売店から購入された製品に適用されます。元の購入者が使用するために購入した製品、または元の購入者がシステムの付属部品として組み込んだ製品もこの保証の対象となります。使用国で製品の保証が有効な場合、その製品を使用国で購入した場合と同様のサービスが提供されますが、その製品が使用国で動作するように設計されている場合に限られます。使用国で、その製品を通常当社が販売していない場合は、購入国にご返送後、サービスを受けていただくことになります。出張サービスを行うまでの時間、および部品が届くまでの時間は、現地での部品調達上の諸事情により、標準的な条件とは異なることがあります。

この保証は特定の法的権利を付与するものですが、国や州によっては他の権利も与えられる場合があります。

責任および補償の制限

上記の補償は、お客様の独占的かつ唯一の補償です。当社は、いかなる場合においてもデータの損失、直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（逸失利益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。国や州によっては、付随的または派生的損害に対する免責または制限が認められていません。そのため、上述の制限または免責は適用されない場合があります。

上記の責任制限は、この取り決めに従って販売された当社製品に瑕疵があり、人身傷害、死亡、財産損害の直接的な原因であると正当な管轄権を有する裁判所によって裁決された場合には適用されません。ただし当社の財産損害責任は、\$50,000 または損害を引き起こした製品の購入価格を超えないことを条件とします。

国または州によっては付随的または派生的損害（失われた収益を含みます）に対する免責または制限が認められないため、上述の制限または免責は適用されない場合があります。

本保証記載の保証条件は、法的に認められる場合を除き、本製品の販売に適用される法律上の強制的権利を除外、制限、または修正するものではなく、この権利に追加されるものです。

他社の製品

当社は、他社のハードウェアまたはソフトウェアのパフォーマンス、品質、形式、内容を保証しません。ワークステーションに付属して配布された他社のマニュアルも保証しません。これらの製品は他社によって保証される場合があり、当社はこのような製品を「現状のままで」提供しています。出張サービスが他社のソフトウェアまたはハードウェアに起因する場合は、標準的な付随費用（旅費および人件費）を請求させていただきます。

顧客責任

お客様の所有物および秘密情報の安全確保、およびファイル、データ、プログラムの消滅もしくは変更された場合の復元対策（バックアップ等）は、お客様の責任で行って下さい。

お客様が出張サービスを受けるには：

製品からの距離が適度な場所に十分な作業スペースと設備を用意して下さい。製品の保守に必要な情報と設備をご提供いただく必要があります。また、通常の運用時に使用される備品や消耗品もご提供いただくようお願いいたします。

お客様には、常に立ち会っていただく必要があります。製品の使用環境が修理担当者の健康を害する危険がある場合は、その旨を修理担当者にお伝え下さい。当社もしくはサービス取扱店の立ち会いのもと、お客様側の保守担当者に製品の保守を行っていただく場合があります。

出張保証サービスを受けるには

米国およびカナダの場合は、電話によるサポートを受けることができます（1-800-593-6631）。

他国の場合は、次の Web サイトを参照して下さい。

www.hp.com/cps-support/guide/psd/cscus.html

日本では、**www.jpn.hp.com/ahp/contact**（日本語）を参照してください。

サポートを受ける際には、製品モデル番号とシリアル番号をお知らせ下さい。購入日を証明できるものをご提示いただくこともあります。

出張サービス保証期間中、お客様自身でお取り替え可能なコンポーネントについては、早急に部品を発送いたします。この場合、発送費用は当社が負担し、必要に応じて電話によるコンポーネントの交換に関するサポートをいたします。また、当社が返送をお願いする故障部品の送料についても当社で負担いたします。

システムプロセッサユニットの内部外部を問わず、不具合の原因が当社以外の製品に起因することが判明した場合は、このサービスに係った費用（サービスエンジニア派遣費、作業費など）を請求させていただきます。

特定の地域では本製品に関する出張サービスが制限されている、もしくは行えない場合があります。地理的条件、道路状況、または適切な公的交通機関がなく通常の移動が不可能な地域では、別途契約あるいは追加費用をその都度ご相談させていただきます。

当社出張サービスの応答時間は、当社サービスオフィスから 160km 圏内では通常翌営業日です（当社休日を除きます）。320km 圏内では翌々営業日、480km 圏内では翌々々営業日です。480km を超える地域については、ご相談させていただきます。各国の HP サポート窓口についての情報は、当社営業所およびサービスオフィスにお問い合わせ下さい。

取扱店または販売代理店のエリア制限および応答時間は、加盟取扱店または販売代理店によって規定されています。

時間外または休日のサービス、通常の応答時間より早い緊急修理サービス、または出張サービス対象地域外でのサービスに関するサービス契約は、特別対応サービス料金を頂くことによりご提供が可能な場合があります。詳しくは、HP サポート窓口にご相談下さい。

部品保証サービスを受けるには

交換用部品の取り付けと、オペレーティングシステム、アプリケーション、データの復元は、お客様の責任で行って下さい。当社は、当社の自由裁量により、お客様のもとで製品を修理する、つまり「出張」サービスを行うことができます。当社が製品を修理または交換できない場合は、その製品 / 部品の返却時に購入代金をお客様に返却いたします。

部品保証サービスをご利用の際は、交換用部品の発送前に当社提供の診断プログラムを実行していただく場合があります。

当社から要望がありました際は、故障部品をご返却下さい。当社部品サービスセンターまでのご返却費用は当社が負担いたします。

ソフトウェアの限定保証

この保証は、ご購入日から 1 年間、ワークステーションのオペレーティングシステムソフトウェアが、素材および製造上の瑕疵によりプログラミング命令が実行されなくなった場合に適用されるものです。ただし、すべてのファイルが HP ワークステーションで適切にインストールされ使用されていることを前提とします。

当社は、ソフトウェア製品の動作の中断およびソフトウェア製品のエラーに対する保証は行いません。

上記保証期間中にソフトウェア製品がプログラミング命令の実行に失敗した場合は、当社の裁量により、メディアを交換させていただくか、製品をご返却いただいた上で購入代金を返却いたします。

リムーバブルメディアについて (提供されている場合)。当社は、リムーバブルメディアが提供されている場合、通常の使用下において材料または製造上の瑕疵なくこのメディアに記録できることをご購入日から 90 日間保証します。保証期間中に瑕疵があることが判明した場合は、当社が提供するメディアと交換いたします。当社が妥当な期間内にメディアを交換できない場合には、メディアを返品し、非リムーバブルメディアに複製した他のすべてのソフトウェア製品を破棄していただいた上で、購入代金を返却いたします。

電話サポートサービス

保証期間中、ワークステーションについての無料電話サポートをご利用いただけます。このサービスは、HP ワークステーションの基本的構成およびセットアップ、およびバンドルまたはプリロードされているオペレーティングシステムに対する技術サポートを提供するものです。

当社では、ネットワークサーバーとして構成されたワークステーションに対する電話サポートは行っておりません。ネットワークサーバーについてのサポートが必要な場合には、HP サーバ製品のご利用をお勧めします。

より広範な保証とサービスサポート

より広範なハードウェア保証サービス (時間外または休日のサービス、緊急のサービス、出張修理、当社の出張対象外地域でのサービスなど) は、追加料金をいただくことにより提供できる場合があります。Itanium ワークステーションについては、当社の HP サポート窓口にお問い合わせ下さい。

保証サービスについての当社へのお問い合わせ

世界各地 :Web サイトを参照して下さい。

www.hp.com/cps-support/guide/psd/expectations.html

日本では、**www.jpn.hp.com/ahp/contact** (日本語) を参照してください。

アメリカ合衆国およびカナダ :

1-800-593-6631 までお電話下さい。

索引

A

AGP カード 2-9

B

BMC 1-15, 1-22

BMC(Baseboard Management Controller) 1-15,
1-22

Boot Option Maintenance Menu 1-16, 1-20

E

e-buzzer 2-1, 2-9

e-DiagTools 2-11

EFI 1-9, 1-15

EFI Shell 1-16, 1-17

EFI シェル 1-21

EFI(Extensible Firmware Interface) 1-15

EFI コマンド 1-18, 1-19

Event Monitoring 2-14

H

HP e-DiagTools 2-11

HP-UX 1-10, 2-15

HP-UX 診断ツール 2-14

HP サポート窓口 2-16

I

IPMI 1-22

L

LAN LED 2-8

LED 1-2, 2-1, 2-6

Linux 1-10, 2-15

O

ODE 2-11

ODE(Offline Diagnostics Environment) 2-11

Offline Diagnostics Environment 2-11

OS 2-1, 2-15

OS のセットアップ 1-10

P

PCI カード 2-9

S

Security/Password Menu 1-16

Support Tools Manager 2-14

U

USB 1-2, 1-3

W

Windows 1-10, 2-15

あ

安全 1-5, 1-7, 1-12

き

キーボード 1-7, 2-1, 2-3

起動 1-9

機能 1-2

く

グラフィックスカード 1-8, 2-1, 2-5

こ

工具 1-5

構成 1-15

コネクタ 1-2, 1-4, 1-5

コンポーネント 1-5, 1-12

さ

サポート 2-16, 2-6

サポートチケット 2-13

し

システム LED 1-2

システムボード 2-9

シャットダウン 1-11

診断 1-22, 2-1, 2-11, 2-14

診断 LED 1-2, 1-3, 2-7

せ

セキュリティ 1-16, 1-21

前面パネル 1-2

そ

ソフトウェア 1-10

た

タワー型 1-3, 1-5

端末エミュレーション 1-16

て

電源 1-2, 1-3, 1-7, 1-11, 2-2, 2-6, 2-9

と

トラブルシューティング 2-1, 2-6

動作 LED 1-2, 2-6

ドライバ 1-14

は

ハードウェアの問題 2-1

ハードドライブ 1-2

背面パネル 1-4

パスワード 1-9, 1-16, 1-21

ひ

光磁気ドライブ 1-2, 1-3

ふ

ファームウェア 1-14

ブート 1-16

ブートメニュー 1-16

プロセッサ 2-9

へ

ヘルプ 2-1, 2-16

ま

マウス 1-7, 2-1, 2-4

マニュアル 2-1, 2-18

め

メモリ 2-9

も

モニター 1-7, 1-8, 2-1, 2-5

ら

ラック型 1-3, 1-5

ろ

ロケータ LED 1-2

ロケータ LED およびボタン 1-3, 2-7

ロケータボタン 1-2